液晶ペンタブレット

DTI-520

ユーザーズガイド



wacom

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品をお使いになる前に、本書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

はじめに

このたびは、当社の液晶ペンタブレット DTI-520 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

DTI-520 は、1024 × 768 ドットの解像度を持つ 15 インチカラー TFT 液晶ディスプレイに、ペンで入力できるタブレットを組み込むことにより、コンピュータの操作が、より直感的で自然なものになるように開発されました。

より軽快に、創造的に、コンピュータを活用するためにお役立てください。

【ご注意】

本書では DTI-520 U Model、DTI-520 S Mode、DTI-520/N0-D について説明しています。各機種により付属品および接続方法が異なりますので、該当機種のページをご覧ください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書では、DTI-520（以下、「DTI-520」または「本機」と呼びます）を安全に正しくお使いいただくために下記のような絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項を守ってお使いください。

⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取扱をすると、人がけがをしたり財産が損害を受ける可能性がある内容を示しています。

絵表示の意味

⚠「気を付ける必要があること」を表しています。

⃠「してはいけないこと」を表しています。

❗「しなければならないこと」を表しています。

⚠ 警告

■ 高度な安全性や信頼性が要求される設備の制御システムには使用しない

他の電子装置に影響を与えたり、他の電子装置から影響を受けて誤作動することがあります。

■ 電子機器の使用を禁止された場所では電源を切る

航空機や病院の治療室など電子機器の使用を禁止された場所では、他の電子装置に影響を与える場合がありますので、本機のUSB コネクタをパソコンから抜いて電源をオフにしてください。

■ 裏蓋を開けない

本機の内部には高電圧部分が数多くあります。サービスマン以外の方は、本機の裏蓋を開けないでください。火災や感電の原因になります。

■ 落下などにより本機が故障した場合は、電源ケーブルをコンセントから取り外す

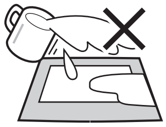
電源ケーブルを接続したまま放置すると、火災や感電の原因になることがあります。

■ 電源プラグ・電源アダプタについて

- 電源プラグのほこりは定期的に取り除いてください。たまったほこりに湿気などが加わると、火災の原因になります。
- 付属の電源アダプタ以外絶対に使用しないでください。火災や故障の原因になります。
- 電源アダプタのコードを傷つけたり、無理に曲げたり束ねたりしないでください。また、重いものの下に敷いたり熱したりしないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- 万一、電源アダプタから煙が出たり変な臭いがしたときは、ただちにコンセントから抜いてお買い上げの販売店、またはワコムカスタマーサポートセンターに修理をご依頼ください。
- 濡れた手で電源アダプタを抜き差ししないでください。感電や故障の原因になります。
- 電源アダプタを開けたり加工したりしないでください。火災や感電の原因になります。

⚠注意

■ お手入れに有機溶剤を使わない
本機をお手入れする際に、アルコールなどの有機溶剤は絶対に使わないでください。変色・変質する恐れがあります。



■ 水に濡らさない
水や液体の入ったコップや花びんを本機の近くに置かないでください。水や液体に濡れると、故障の原因となります。

■ お手入れのときは USB コネクタを取り外す
お手入れのときは、USB コネクタをパソコンの USB ポートから取り外してください。感電の原因となることがあります。

■ 動作中に金属を載せない
本機を使用しているときに、本機の上に金属性のものを載せないでください。誤作動や故障の原因となります。

■ 漏れた液晶に触れない
液晶には刺激性があります。万一、液晶が漏れた場合は素手で触れないでください。触れたり目に入った場合は、ただちに 15 分以上流水で洗い、医師に相談してください。

■ ケーブルに力を加えない
本機のケーブルに重いものを載せたり、踏んだりしないでください。また、付け根部分に過度の力を加えたり、曲げ伸ばしを繰り返したりしないでください。断線や故障の原因になります。

■ 不安定な場所に置かない
ぐらついたり傾いたりした場所、また振動の激しい場所に本機を置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因になります。



■ 重いものを置かない
本機の上に乗ったり、重いものを置かないでください。故障の原因になることがあります。

■ 電源プラグを接続するときは
電源アダプタのプラグをコンセントに差し込むときは、アース線も接続してください。

■ 長時間お使いにならないときは
長時間お使いにならないときは、安全のため電源アダプタのプラグをコンセントから抜いてください。

■ ほこりがかからないように使う
故障の原因になります。

■ 裏面の換気孔をふさがない
本体内部が過熱し、故障の原因になります。

■ スタンドを持って持ち上げない
スタンドに過度の力が加わると、開閉機構が壊れる恐れがあります。本機を持ち上げるときは、本体を持ってください。

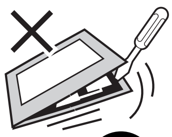
■ 電子ペンについて
・ 付属の電子ペンで固いものを叩かないでください。故障の原因になります。
・ 小さなお子様が電子ペンや替え芯などを口の中に入れないようにご注意ください。芯やサイドスイッチなどのカバーが抜けて飲み込んだり、また電子ペンが故障する恐れがあります。



■ 電源が入っているときはケーブル等を抜き差ししない
パソコン及び本機の電源が入っているときには、ケーブルや電源アダプタを抜き差ししないでください (USB ケーブル除く)。本機やパソコンが故障する恐れがあります。

■ 温度が高すぎる場所や低すぎる場所に置かない
暑い場所（３５℃以上）や寒い場所（５℃以下）に本機を置かないでください。また、温度変化の激しい場所に置かないでください。本体や部品に悪影響を与え、故障の原因になります。

■ 分解をしない
本機を分解したり改造しないでください。発熱・発火・感電・けが等の原因となります。一度でも本機を分解した場合は、保証が無効となりますのでご注意ください。



目の健康のため、以下のことにご注意ください

●本機をお使いになるときは、必ず部屋を明るくし、パソコンの画面から十分に顔を離してお使いください。

●長時間本機をお使いになるときは、適度に休憩をお取りください。

免責事項について

●火災や地震、第三者による事故、お客様の故意または過失、誤用その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

●本製品の使用や使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、データの変化や消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。

●取扱説明書で説明している以外の使い方によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

●他の接続機器、または当社製以外のソフトウェアとの組み合わせによる誤作動から生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

製品の保証についてのお願い

保証規定をよくお読みになり、お買い上げから一年間は保証書を保管してください。保証書に販売店による記入がない場合は、直ちに販売店にお申し出になるか、ご購入時の領収証（またはその写し）を保証書に添付して保管してください。保証書に、販売店による記入も領収証の添付もない場合は、保証書が無効になります。詳しくは裏表紙をご覧ください。

電波障害自主規制等について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受像器に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

商標について

● Windows は米国マイクロソフト社の米国及びその他の国における登録商標です。

● Macintosh は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。

●その他の製品名などは、一般的に各社の商標または登録商標です。

ご注意

①付属のタブレットドライバの著作権は、株式会社ワコムにあります。

②タブレットドライバ及び本書の内容の一部または全部を、無断で複製、転載することは禁止されています。

③タブレットドライバ及び本製品の仕様、及び本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

④資源、有効利用促進法の施行により、ワコムではワコム製の使用済み液晶ペンタブレットの回収・リサイクル活動を行っています。タブレットリサイクルのお問い合わせについては、以下のインターネットアドレスをご参照ください。

http://www.wacom.co.jp/recycle/

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

本製品の仕向地について

本製品は日本国内向けに構成されています。

本書について

本書では、DTI-520 本体の接続方法、インストール方法、機能、及び使い方について説明しています。

DTI-520 は、お使いのコンピュータに対して、液晶モニタとタブレットという 2 つの独立した機器の役割を果たします。まず、DTI-520 を表示装置として接続し、次にタブレットドライバをコンピュータにインストールしてください。表示一体型タブレットとしてお使いただけます。

DTI-520 で画面を表示するには、アナログ RGB 対応のビデオ出力が必要です。ビデオカードの使い方については、ビデオカードに付属の説明書をお読みください。

液晶ディスプレイについてのご注意

液晶表示部はペンであまり強く押さないようにしてください。ペンで強く押すと、波紋状の縞模様が現れることがありますが、離すと戻ります。また､以下のような現象は液晶ディスプレイの特性であり、故障ではありませんのでご了承ください。

- 表示内容によっては、明るさにムラが生じることがあります。
- 表示内容によっては、ごく一部に点灯したまま、または点灯しないままの緑や赤、青のドットが見られることがあります。
- 細かい模様が表示されると、ちらつきや縞模様を生じることがあります。
- 静止画を長時間表示したあと残像が生じることがありますが、時間がたつと徐々にもとに戻ります。
- 使用時間の経過にともなうバックライトの光の変化により、表示状態が徐々に変化します。
- 画面を見る角度によっては、色合いが多少変わります。

その他に関するご注意

他のタブレットなどの機器を本機のすぐ前に置くと、その機器が影響を受けて誤動作することがあります。このような場合は、本機の横などへ少し離してお使いください。

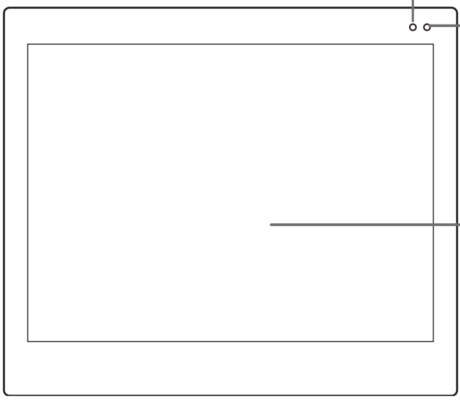
USB ハブのご利用について

本機はUSBハブを搭載しています。USB対応のコンピュータに接続することにより、USBに対応している周辺機器と接続することができます。接続するスキャナ、ハードディスク、CD/CD-Rドライブなどの大きな電力を必要とする周辺機器によっては、動作しない場合があります。各周辺機器については、各メーカーにお問い合わせください。

目　次

各部の名称

正面

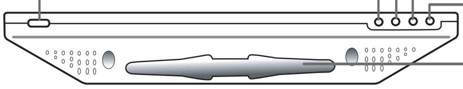


ステータスランプ
ペンのスイッチが ON になると、青色に点灯します。

パワーランプ
電源が ON の場合、青色になります。

タブレット操作面および液晶表示部

天面

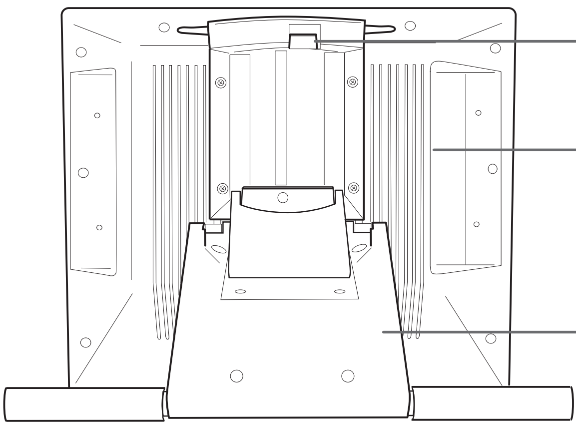


電源ボタン

メニューボタン
ーボタン
＋ボタン
ENTER ボタン
▶ P.22

ペントレー
ペンを使わないときは置いておきます。

裏面



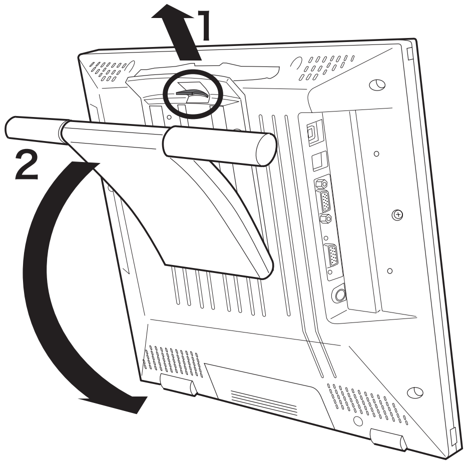
スタンドレバー
▶ P.9

コネクタ
▶ P.14 ～ 17

スタンド
▶ P.9

スタンドを開く

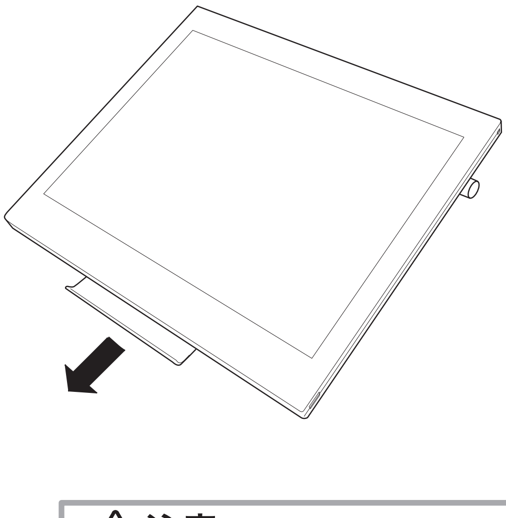
1 スタンドレバーを上へ引きます。

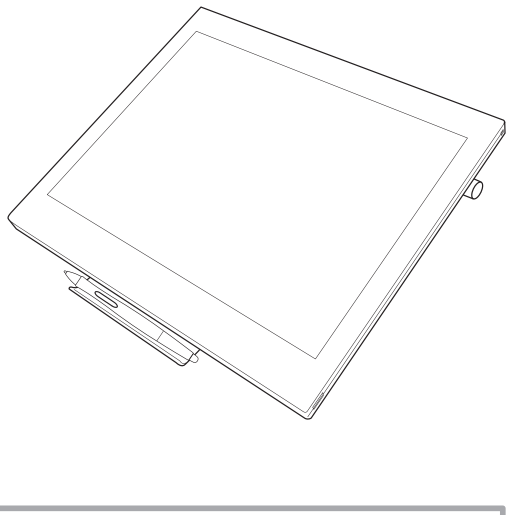


2 スタンドを下に降ろします。

ペンホルダーを使う

下図のようにペンホルダーを手前に引き出します。





⚠ 注意

ペンホルダーをお使いになる場合は、必ずスタンドを戻して、上の図のように本体を寝かせて、ペンホルダーを引き出してください。

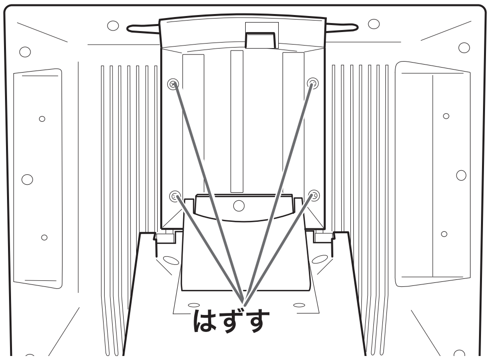
DTI-520 をマウントアームなどに取り付ける

本機は VESA（Video Electronics standard Association）の FPMPMI（Flat Panel Monitor Physical Mounting Interface Standard）規格に準拠しています。
スタンドをはずして、VESA 規格のマウントアームなどに取り付けることができます。このとき、M4/0.7mm ピッチのネジが別途必要です。ネジの長さが、取り付け時の DTI-520 本体の表面から深さ 15mm 以内になるものを使用してください。深さが 15mm を越えますと、内部の部品を傷つけ故障の原因になります。

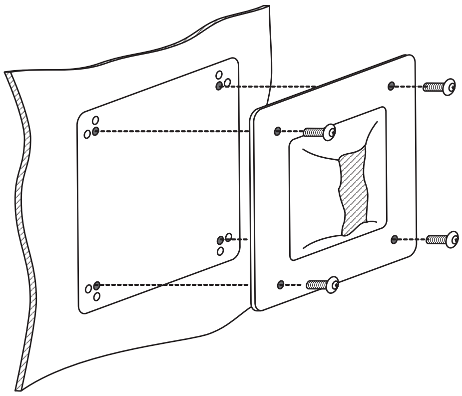
1 コンピュータと本機の電源を OFF にして、すべてのケーブルをはずしてください。

2 平らな台の上に本機をうつぶせに置いてください。このとき、本体前面に傷が付かないように布などを敷いてから置いてください。

3 スタンドを固定している 4 つのネジをはずして、スタンドをはずしてください。



4 M4/0.7mm ピッチのネジを使って、本機の裏面にアームなどをしっかり固定してください。



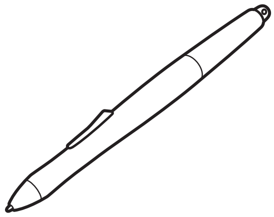
> **⚠ 注意**
> マウントアームやほかのスタンドなどに取り付ける場合は、それぞれの説明書の指示に従ってください。誤った取り付け方をされますと、はずれて落ちることがあり、故障の原因になります。

5 ケーブルを接続（▶ P.14 ～ 17）し、はずしたネジを保管してください。

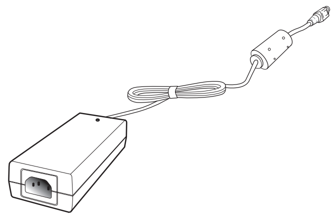
付属品のご確認

DTI-520 U Model の付属品

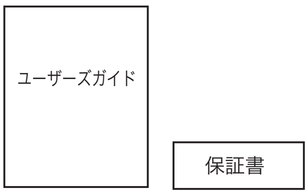
●電子ペン



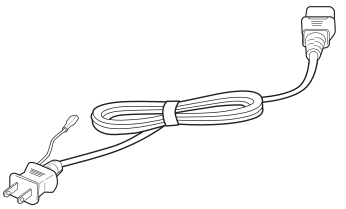
● AC アダプタ



●ユーザーズガイド（本書）/ 保証書



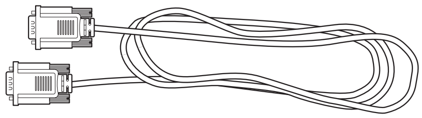
●電源ケーブル



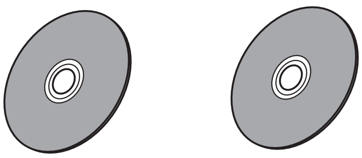
●アプリケーションインストールガイド（Win/Mac）



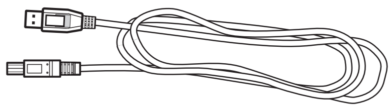
● RGB-RGB ケーブル



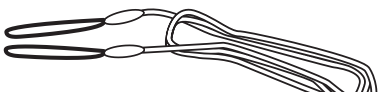
●タブレットドライバ CD-ROM
●アプリケーションソフトウェア CD-ROM



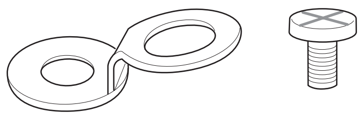
● USB ケーブル



●ペン紛失防止ケーブル

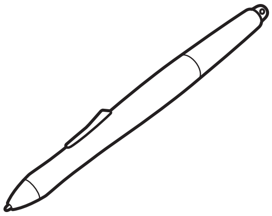


●取付金具／専用ネジ

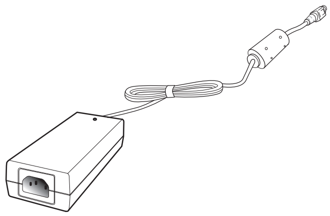


DTI-520 S Model の付属品

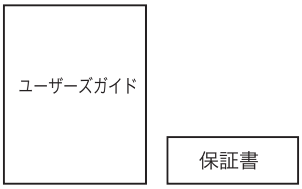
●電子ペン



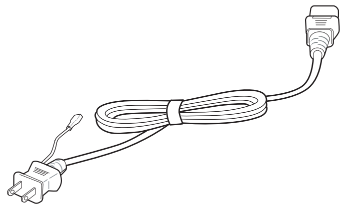
● AC アダプタ



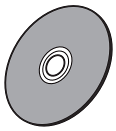
●ユーザーズガイド（本書）/ 保証書



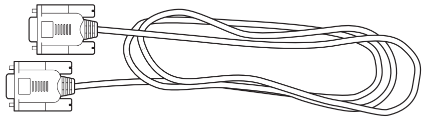
●電源ケーブル



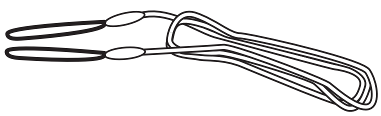
●タブレットドライバ CD-ROM



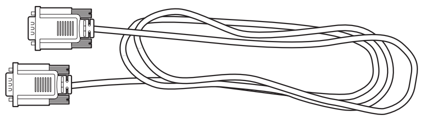
●シリアルケーブル



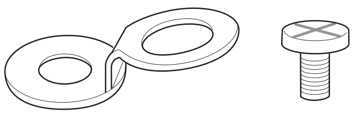
●ペン紛失防止ケーブル



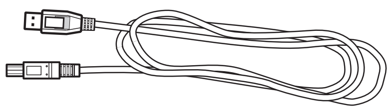
● RGB-RGB ケーブル



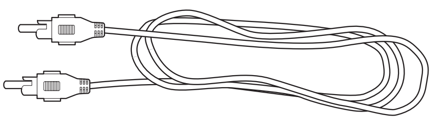
●取付金具／専用ネジ



● USB ケーブル

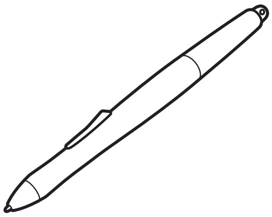


●コンポジットビデオケーブル

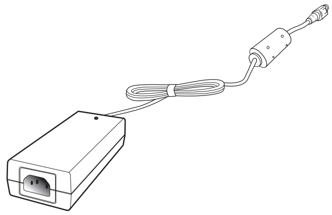


DTI-520/N0-D の付属品

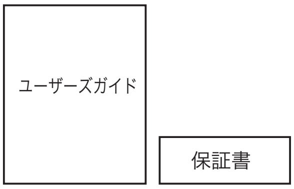
●電子ペン



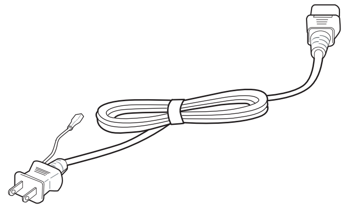
● AC アダプタ



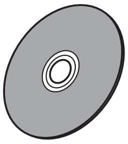
●ユーザーズガイド（本書）/ 保証書



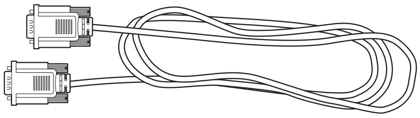
●電源ケーブル



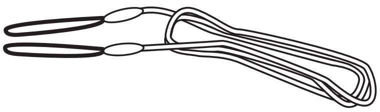
●タブレットドライバ CD-ROM



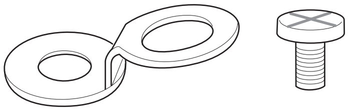
● RGB-RGB ケーブル



●ペン紛失防止ケーブル



●取付金具／専用ネジ



注意	DTI-520/N0-D は、製品の構成により付属品が異なります。

重要	DTI-520 の保存や輸送のため、箱は捨てずに保管してください。

DTI-520 を接続する

DTI-520 U Model を接続する

1 本機、及びコンピュータの電源を OFF にします。

2 本機のアナログ RGB コネクタとパソコンのディスプレイコネクタを接続します。

3 AC アダプタと電源ケーブルを接続し、DC 電源コネクタを DC 電源入力端子に接続します。
次に、電源プラグを 100V 電源コンセントに接続します。
必ずアース線を接続してください。

4 本機の電源ボタン（▶ P.8）を ON にします。
電源表示ランプが青→オレンジの順に点灯します。

5 コンピュータの電源を ON にします。

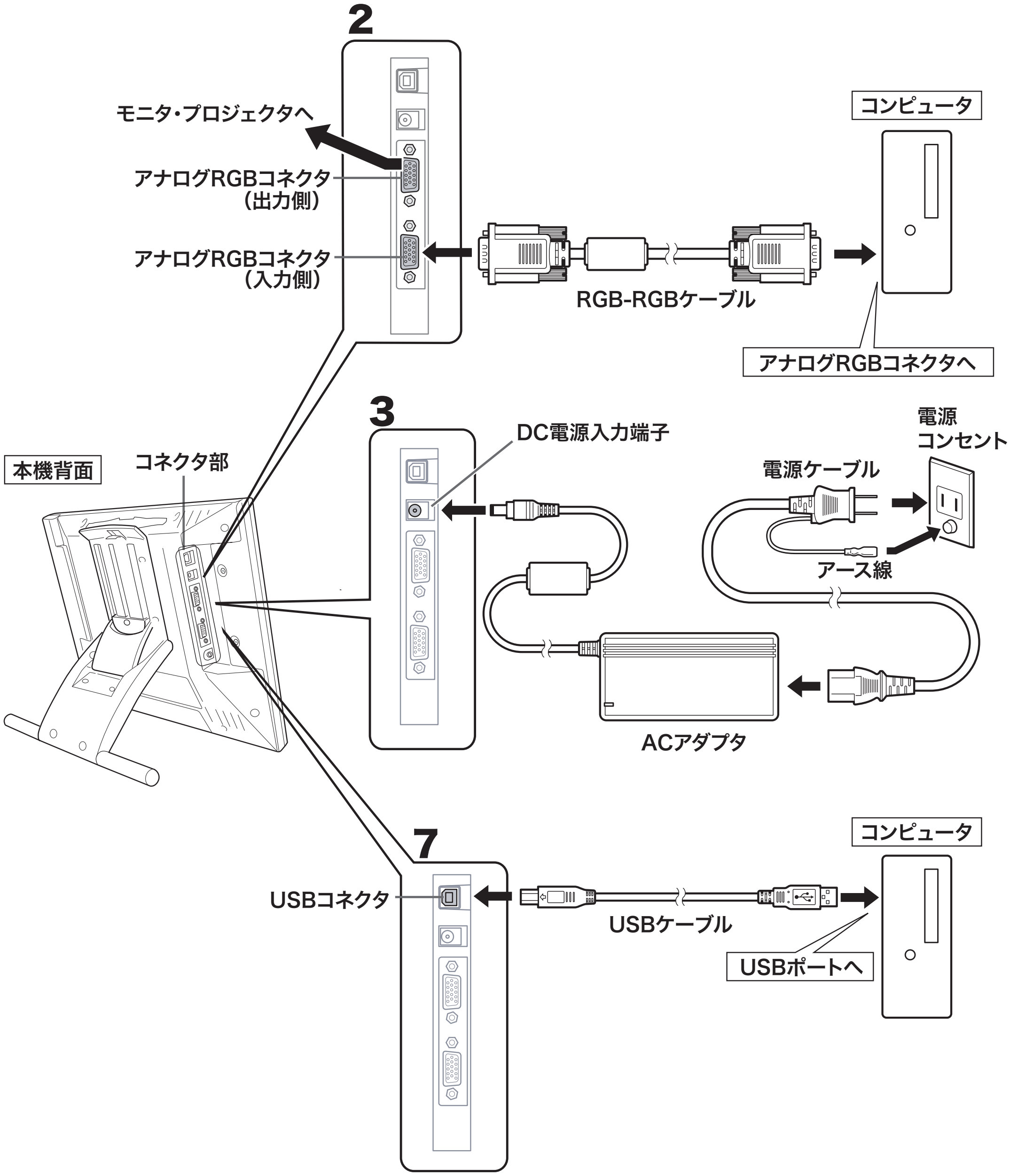
6 本機の液晶画面を見ながら、解像度と色数を設定します。

> **重要**
> ・リフレッシュレートは変更しないでください。本機のリフレッシュレートを越える値を設定すると、画面が表示されないことがあります。
> ・カラーパレットの設定と表示される色数は次の通りです。
> High Color(16 ビット) → 65,536 色 / True Color(24 ビット) →約 1,619 万色
> ※色数はコンピュータやビデオカードの性能によって制限されます。詳細については、コンピュータやビデオカードに付属の取扱説明書をご覧ください。

7 本機の USB コネクタとパソコンの USB ポートを接続します。

8 タブレットドライバのインストールを行います（「タブレットドライバをインストールする（P.18）をご覧ください）。

> **注意**
> 他のタブレットなどの機器を本機のすぐ近くに置くと、影響を受けて誤動作することがあります。このような場合は、なるべく離してお使いください。



重要　コンポジットビデオケーブルから本機に入力された映像は、アナログ RGB コネクタ（出力側）で接続された出力機器には表示されません。

DTI-520 S Model、DTI-520/N0-D を接続する

1 本機、及びコンピュータの電源を OFF にします。

2 本機のアナログ RGB コネクタとパソコンのディスプレイコネクタを接続します。

3 AC アダプタと電源ケーブルを接続し、DC 電源コネクタを DC 電源入力端子に接続します。
次に、電源プラグを 100V 電源コンセントに接続します。

必ずアース線を接続してください。

4 本機の電源ボタン（▶ P.8）を ON にします。
電源表示ランプが青→オレンジの順に点灯します。

5 コンピュータの電源を ON にします。

6 本機の液晶画面を見ながら、解像度と色数を設定します。

> **重要**
> ・ リフレッシュレートは変更しないでください。本機のリフレッシュレートを超える値を設定すると、画面が表示されないことがあります。
> ・ カラーパレットの設定と表示される色数は次の通りです。
> High Color(16 ビット) → 65,536 色 / True Color(24 ビット) →約 1,619 万色
> ※ 色数はコンピュータやビデオカードの性能によって制限されます。詳細については、コンピュータやビデオカードに付属の取扱説明書をご覧ください。

7 本機とコンピュータの電源を OFF にします。

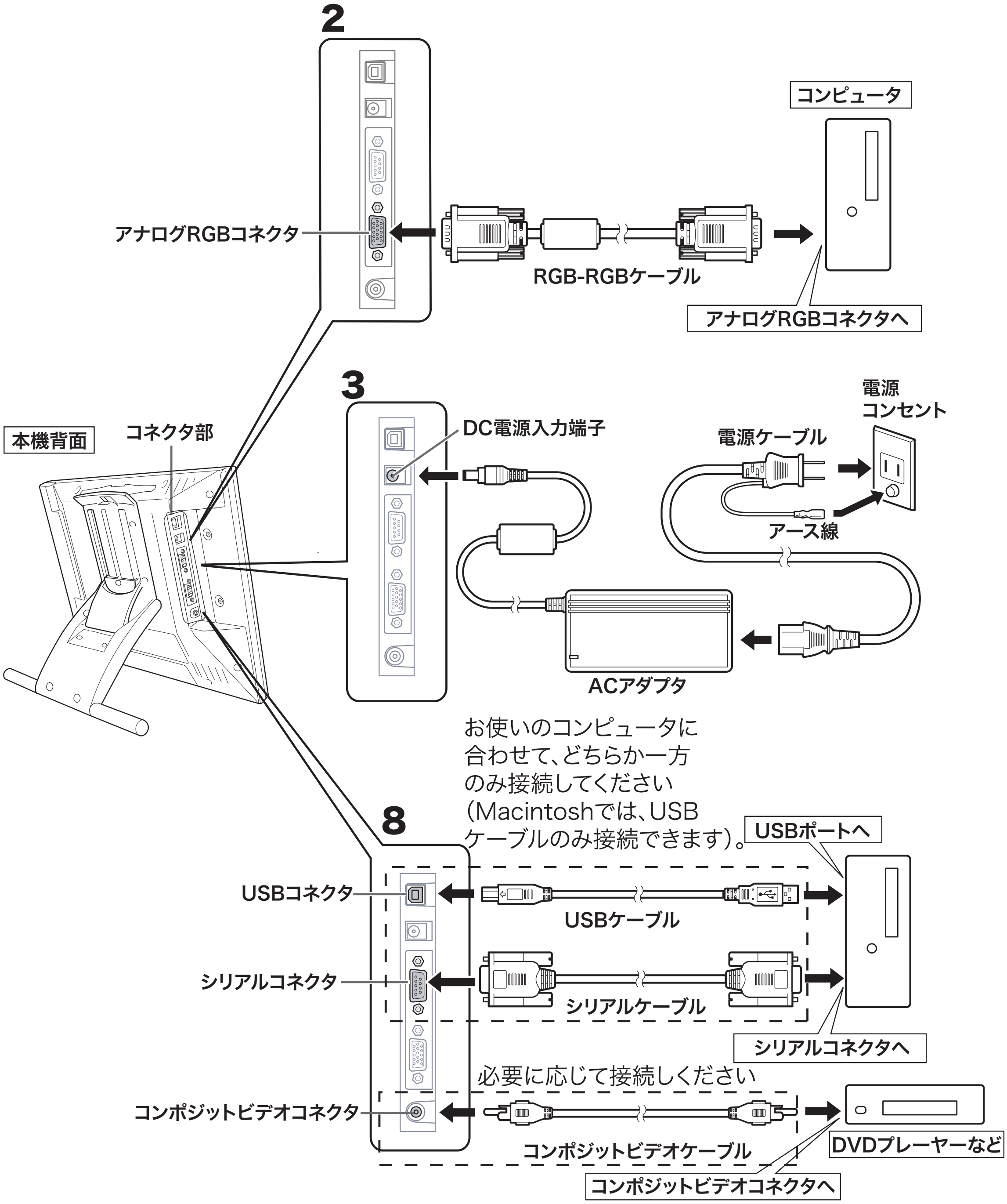
8 お使いのコンピュータにより USB ケーブル、またはシリアルケーブルのどちらかで、本機とコンピュータを接続します。
Macintosh をお使いの場合は、USB ケーブルで接続してください。

> **注意**
> タブレットをシリアルケーブルで接続してお使いの場合は、本機の USB ハブ機能はお使いになれません。

9 本機とコンピュータの電源を ON にします。

10 タブレットドライバのインストールを行います (「タブレットドライバをインストールする (P.18) をご覧ください)。

> **注意**
> 他のタブレットなどの機器を本機のすぐ近くに置くと、影響を受けて誤動作することがあります。このような場合は、なるべく離してお使いください。



注意 タブレットをシリアルケーブルで接続してお使いの場合は、本機の USB ハブ機能はお使いになれません。

タブレットドライバをインストールする

Windows でのセットアップ

インストールの前に本機の USB ケーブルまたはシリアルケーブルをコンピュータに接続してください。

> **重要** ・シリアルケーブルで接続されている方は、「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されることがあります。「キャンセル」をクリックしてインストールを続けてください。

1 開いているアプリケーションを閉じ、ウイルス監視プログラムを一時的に OFF にします。

2 タブレットドライバ CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットすると、インストールメニュー画面が表示されます (表示されない場合は、CD-ROM の中の「Install.exe」をダブルクリックしてください)。

注意： ・「自動再生」が表示される場合があります。「プログラムのインストール／実行」をクリックしてください。
・「ユーザーアカウント制御」が表示される場合があります。「続行」または「許可」をクリックしてください。

3 インストールメニューが表示されます。「ペンタブレットのインストール」をクリックすると、使用許諾契約が表示されます。

4 「同意する」をクリックします。

5 インストールが完了したら、「OK」をクリックしてインストールを終了します (ドライバの更新の場合は「直ちにシステムを再起動する」をクリックしてください。コンピュータが自動的に再起動されます)。

6 「コントロールパネルを使う」(▶ P.27) を参考に、コントロールパネルを開き、ペンの設定、位置調整を行います。

Macintosh でのセットアップ

1 USB ケーブルをコンピュータに接続します。

2 開いているアプリケーションを閉じ、ウイルス監視プログラムを一時的に OFF にします。

3 タブレットドライバ CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットすると、CD-ROM アイコンがデスクトップに表示されます。CD-ROM アイコンを開き「インストール」または「Install.app」をダブルクリックしてください。

4「ペンタブレットのインストール」をクリックすると、インストールが始まります。以降、画面の説明に従ってインストールを進めてください。
操作中に認証ダイアログが表示されたら、パスワード * を入力してください。



注意
＊パスワードとは、Macintosh 購入時のユーザー情報登録の際に設定したパスワードです。

5 タブレットドライバのインストールが完了したら、Macintosh を再起動してください。

タブレットドライバをアンインストールする

Windows の場合

1 Windows の「スタート」ボタンからコントロールパネルを開き、「プログラムと機能」を選択します。または、「プログラムの追加と削除」をダブルクリックします。

2 リストの中から「ペンタブレット」を選択し、「アンインストール」または「変更と削除」ボタンをクリックします。
ダイアログの指示に従い、アンインストールを行ってください。
Windows を再起動すると、ドライバが削除されます。

Macintosh の場合

1 アプリケーションフォルダの中の「タブレット」フォルダを開きます。

2「ワコムタブレットの削除」を起動し、指示に従ってアンインストールを行ってください。

DTI-520 のディスプレイについて

ディスプレイの映像を切り替える

DTI-520 S Model、DTI-520/N0-D には、RGB-RGB ケーブル（▶ P.17）から入力された映像とコンポジットビデオケーブル（▶ P.17）から入力された映像のどちらかが表示されます。2 つの映像は次の方法で切り替えることができます。

●メニュー画面の「入力切換」画面から切り換える（▶ P.24)。
● ENTER ボタン（▶ P.22）を押す。

ヒント RGB-RGB ケーブルとコンポジットビデオケーブルの両方が接続されている状態で、電源を ON にすると RGB-RGB ケーブルから入力された映像が優先されて表示されます。

オートアジャスト機能について

本機のディスプレイには､最適な画質が表示されるようにオートアジャスト機能が働きます｡オートアジャスト機能が働いていると、画面の表示までに少し時間がかかります。オートアジャストによる設定は、ディスプレイに保存されます。

ヒント オートアジャスト機能が働くと、表示モードを受信したときにディスプレイの水平位置と垂直位置、フェーズ、ピッチが自動的に調整されます。
水平周波数が 30-56.5KHz、垂直周波数が 45-75Hz（1024x768 ドットのときは 70Hz まで）の場合、オートアジャスト機能が働きます。

重要 オートアジャストの動作中は、電源スイッチ以外は操作できません。

省電力機能（パワーセーブ機能）

本機は、VESA および ENERGY STAR のパワーセービングガイドラインに対応しています。DPMS（Display Power Management Signaling）に対応しているコンピュータやグラフィックボードに接続すると、操作していないときは自動的に以下のような省電力状態になります。

コンピュータの動作状態	水平同期信号	垂直同期信号	画像信号	消費電力	電源表示ランプ
電源 ON	あり	あり	あり	23W 以下	青色
スタンバイモード	なし	あり	なし	2W 以下	オレンジ色 / 青色 *
サスペンドモード	あり	なし	なし	2W 以下	オレンジ色 / 青色 *
OFF モード	なし	なし	なし	1W 以下	オレンジ色

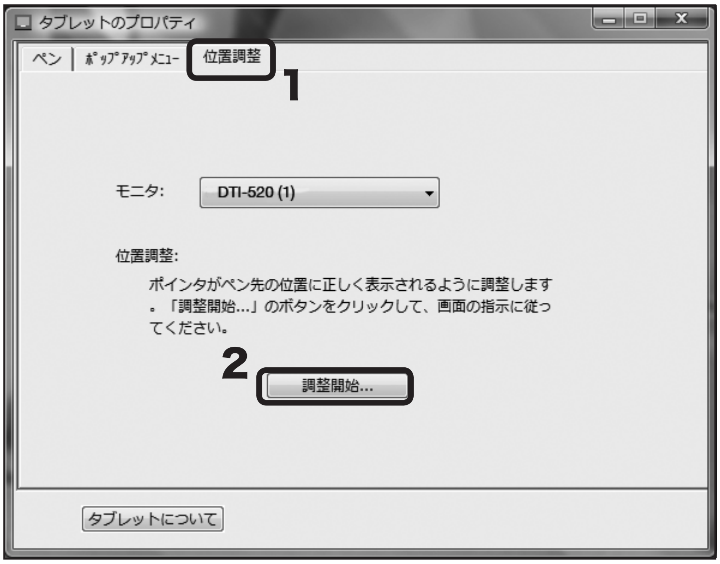
注意 ＊お使いのコンピュータやビデオカードの仕様や設定によっては、スタンバイモードやサスペンドモードでもオレンジ色のみ点灯する場合があります。

画面が液晶パネルからはみ出したり文字がにじんだら・・・

注意　この設定は、コンピュータと本機を RGB ケーブルで接続した場合に有効です。

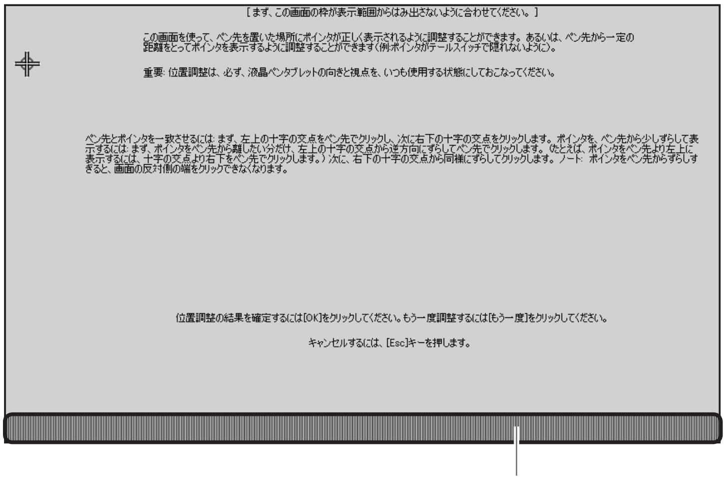
コンピュータやグラフィックボードの機種によっては、オートアジャスト機能が十分に働かず、画面が液晶パネルからはみだしたりにじんだりすることがあります。その場合、ピッチとフェーズを調整してください。解像度が 1024 × 768 ドットのとき、もっとも調整の効果があります。

【手順】



1 タブレットのコントロールパネルを開き（▶ P.27）、「位置調整」タブをクリックします。

2「調整開始 ...」をクリックします。画面調整用ストライプが表示されます。



画面調整用ストライプ

3 メニュー画面を開いてピッチを選択します。▶ P.22、24

4 画面調整用ストライプの左右が均一に表示されるようにピッチを調整します。

5 ENTER ボタンを押してメニュー画面に戻ります。

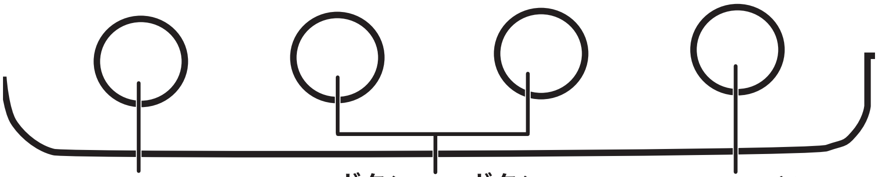
6 メニュー画面からフェーズを選択します。▶ P.22、24

7 画面調整用ストライプがもっとくっきり表示されるようにフェーズを調整します。

8 ENTER ボタン、メニューボタンの順に押してメニュー画面を終了します。

ヒント　（Windows の場合 ---Windows XP を除く）
「Windows の終了」の画面を表示してピッチとフェーズを調整することもできます。ピッチが調整されていない場合は、画面の暗い部分に縦の明暗の縞模様が現れます。フェーズが調整されていない場合は、画面の暗い部分が横方向に明暗に波立ちます（1024 × 768 ドットの場合）。
タブレットドライバがインストールされていない場合は、こちらの方法をお勧めします。

ボタンの機能



メニューボタン：
メニュー画面を表示させたり、閉じます。

–ボタン、＋ボタン：
メニュー項目を選びます。
また、数値を設定します。

ENTER ボタン：
メニュー画面で設定内容を決定したり、設定モードにします。

または、RGB-RGB ケーブルから入力された映像とコンポジットビデオケーブルから入力された映像を切り換えます。▶ P.20

ディスプレイの明るさやコントラストなどを調整する

画質の調整や表示内容の設定は、画面に表示された調整項目や値を見ながら、ボタンで操作します。メニューボタンを押すと、メニュー画面が画面に表示されます。調整する項目や設定したい内容を選んでください。

> **ヒント**　日本語でメニュー画面を表示するには、「共通画面、言語（▶ P.23）」をご覧ください。

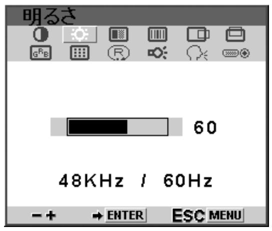
メニュー画面の使い方

例：明るさを設定します。

1 メニューボタンを押して、メニュー画面を表示させます。

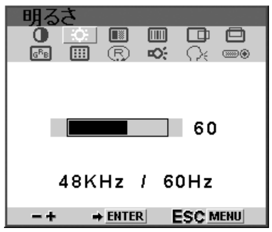


2 ＋ボタンや–ボタンを押して、調整する項目を選びます。



3 ENTER ボタンを押して、設定モードにします。＋ボタンや–ボタンで、調整を行います。決定ボタンを押して、設定します。

4 ENTER ボタンを押して、設定内容を確定します。



メニュー画面の種類

メニュー画面は、RGB ケーブルで接続した場合とコンポジットケーブルで接続した場合で、表示される画面が異なります。共通して表示される画面については、以下の「共通画面」で RGB ケーブルでの画面を例にあげ説明します。

●共通画面

コントラスト

コントラストの設定ができます。
注意：色温度でダイレクトを選択している場合は変更できません。



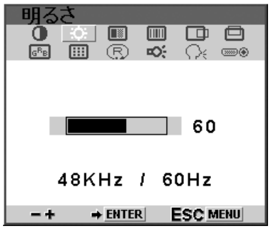
言語

メニュー画面の言語を変えることができます。初期設定では英語が選択されています。



明るさ

明るさ（黒レベル）の設定ができます。
注意：色温度でダイレクトを選択している場合は変更できません。



バックライト輝度

液晶表示部のバックライトの輝度を調整できます。



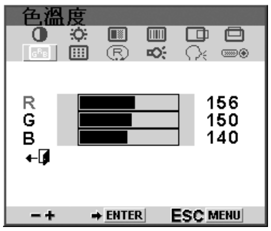
色温度

色温度を設定することができます。
色温度は白色の度合いで表され、高いほど画面が青みがかった白色になり、低いほど赤みがかった白色になります。
一般に、ワープロなどでお使いのときは 9300K が、ビデオ映像などでお使いのときは 6500K が適しています。ダイレクト、9300K、6500K、5000K、ユーザー設定の 5 種類から選択できます。



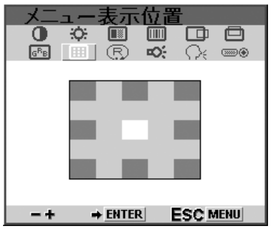
ユーザー設定を調整するには

アイコン「↳🚪」を選択して ENTER ボタンを押し、R（赤）と B（青）、G（緑）をそれぞれ増減します。
アイコン「←🚪」を選択して ENTER ボタンを押すと、色温度の選択画面に戻ります。



メニュー表示位置

メニュー画面の表示位置を変えることができます。画面の上部 3 か所、中央 3 か所、下部 3 か所のいずれかに移動できます。



自動画面調整

一度調整した設定を元に戻すことができます。実行すると自動的にメニュー画面に戻ります。
オートアジャストを選択して ENTER ボタンを押すと、オートアジャストが働いてフェーズ、ピッチ、水平位置、垂直位置の設定を最適にします（アナログ RGB のみ）。
初期設定に戻すを選択して ENTER ボタンを押すと、すべての調整値が工場出荷時の設定に戻ります。
アイコン「←🚪」を選択して ENTER ボタンを押すと、何もせずにメニュー画面に戻ります。



入力切換

D-SUB を選択すると、RGB-RGB ケーブルから入力された映像が表示されます。
VIDEO を選択すると、コンポジットビデオケーブルから入力された映像が表示されます。



● RGB ケーブルで接続した場合に表示される画面

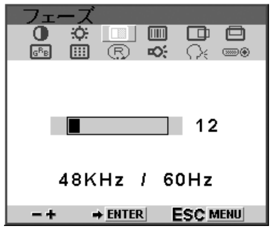
水平位置

液晶表示部での画面の水平位置を微調整することができます。



フェーズ

オートアジャスト機能による自動調整が不十分な場合に、フェーズを微調整します。ピッチを先に調整してください。



垂直位置

液晶表示部での画面の垂直位置を微調整することができます。



ピッチ

オートアジャスト機能による自動調整が不十分な場合に、ピッチを微調整します。



●ビデオケーブルで接続した場合に表示される画面

色の濃さ

画像の色の濃さを調整します。



シャープネス

画像の鮮明さを調整します。



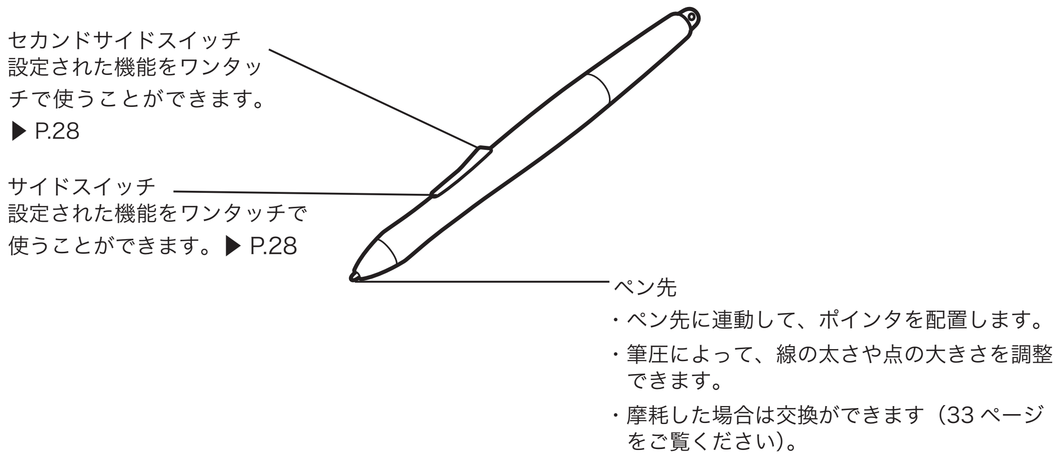
色相

画像の色相を調整します。



電子ペン

各部の名称と働き



電子ペンの標準設定

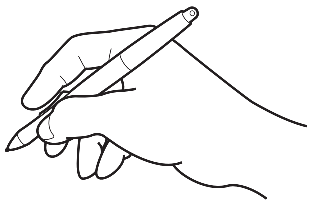
	Windows	Macintosh
サイドスイッチ	右ボタンクリック（29 ページ）	右ボタンクリック（29 ページ）
セカンドサイドスイッチ	ダブルクリック（29 ページ）	ダブルクリック（29 ページ）

補足 サイドスイッチ、セカンドサイドスイッチの設定については、28 ～ 30 ページをご覧ください。

持ちかた

通常の鉛筆やペンと同じように持ちます。

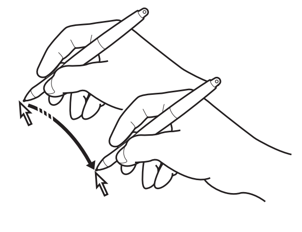
注意
誤ってスイッチを押さないようにご注意ください。



ペンの基本操作

ポインタを移動する

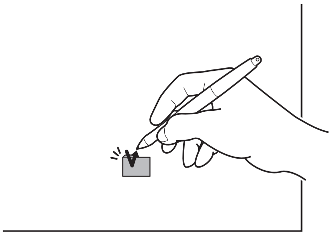
画面から少し浮かせながらペンを動かすと、画面のポインタが移動します。



クリックする、ダブルクリックする

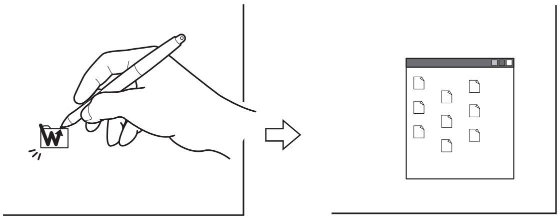
クリックする

ペン先で画面を軽く 1 度たたきます。



ダブルクリックする

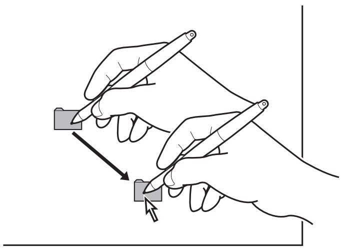
ペン先で同じ場所を連続で 2 度たたきます。



補足	標準設定でセカンドサイドスイッチにダブルクリックが設定されています。

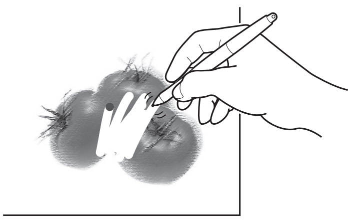
ドラッグする

アイコンやフォルダを選択し、ペン先を押し付けたままペンを動かします。



消しゴムを使う

消しゴム機能を設定してディスプレイ上をなぞると、絵や手書き文字が消しゴムで消したように消えます。



コントロールパネルを使う

コントロールパネルから、ペンの設定を変えたり、ポインタとペン先の位置を調整します。
※ 複数のタブレットを接続してお使いの場合は、「複数の液晶ペンタブレットを接続した場合の設定」をご覧ください (P.30)。

コントロールパネルを表示する

Windows での開き方

Windows の「スタート」ボタンから「すべてのプログラム (P)」（または「プログラム (P)」）→「タブレット」の順に開き、「ペンタブレットのプロパティ」を選択します。
「コントロールパネル」の「ペンタブレットのプロパティ」を選択して開くこともできます。

注意

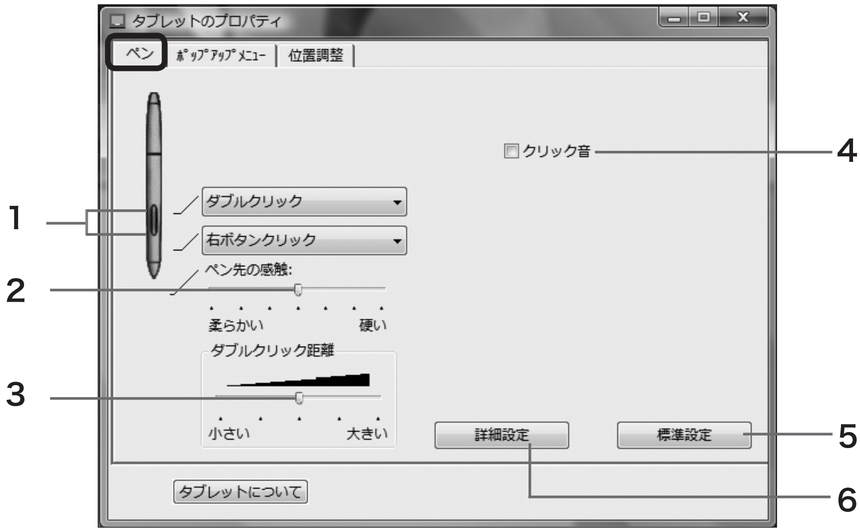
タブレット設定ユーティリティについて
タブレット設定ユーティリティはコントロールパネルの設定を初期化します。ポインタの操作がおかしくなったときなどにお使いください

Macintosh での開き方

「システム環境設定」→「タブレット」の順に開きます。

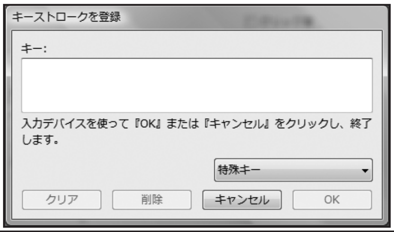
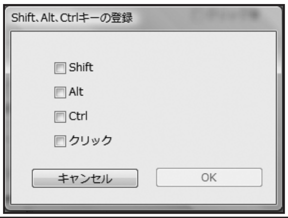
ペンの設定を変更する

ペンのタブを選択します。



番号	設定項目	内容
1	セカンドサイドスイッチ設定 サイドスイッチ設定	スイッチに割り当てられた機能を変更することができます。「▼」をクリックして、表示されるメニューから任意の機能を選択します。機能の詳細は「スイッチとボタンの設定」(P.29 ～ 30) をご覧ください。
2	ペン先の感触	ペン先の筆圧感知を 7 段階に設定できます。スライダーを希望の目盛りまでドラッグしてください。 ・柔らかい : より軽く押して検知することができます。 ・硬い : より強く押して検知することができます。
3	ダブルクリック距離	ダブルクリックの 1 度目と 2 度目のクリック間の距離を 5 段階に設定できます。スライダーを希望の目盛りまでドラッグしてください。 ・小さい : より狭い範囲での 2 度のクリックをダブルクリックと認識します。 ・大きい : より広い範囲での 2 度のクリックをダブルクリックと認識します。
4	クリック音	ペンでクリックしたとき「クリック音」が鳴るように設定できます。パソコンのスピーカー設定を行った後、□にチェックを付けてください。
5	標準設定	クリックすると、全ての設定が標準 (お買い上げ時の設定) に戻ります。
6	詳細設定	サイドスイッチに右クリックやその他のクリック機能を設定した場合、その操作方法を次の 2 つのうちから選択することができます。 ・浮かした状態でのクリック： 操作面からペン先を少し浮かせて、サイドスイッチを押します。 ・ペン先とともにクリック： 先にサイドスイッチを押して、次に操作面をペン先で軽く押します。タブレット PC では初期設定です。

スイッチとボタンの設定

設定項目	内容
クリック 右ボタンクリック 中ボタンクリック	通常のマウスと同じ働きをします。
第 4 ボタンクリック（戻る）	インターネットブラウザでの「戻る」機能が働きます。
第 5 ボタンクリック（進む）	インターネットブラウザでの「進む」機能が働きます。
ダブルクリック	ワンタッチでダブルクリックの働きをします。
クリックロック	ワンタッチでマウスの左ボタンを押し続ける働きをします。ドラッグするときに便利です。解除するときはスイッチ (またはボタン) を押すかペン先でクリックします。
キーストローク	ワンタッチで任意のキーの組み合わせを押す働きをします。 選択すると下の画面が表示されますので、任意のキーの組み合わせを入力し「OK」をクリックしてください。 ※ Shift、Alt、Ctrl キーのどれかを入力する場合は、必ず文字キーも入力してください。 
修飾キー	ワンタッチで、Shift、Alt、Ctrl キーのどれか、または全部を同時に押す働きをします。クリックすると下の画面が表示されますので、任意のキーにチェックを付け「OK」をクリックしてください。 
スクロール／移動 ...	ハンドツールが使えるアプリケーションで、ハンドツールで、開いているファイルや画像をウィンドウの中で自由に移動させることができます。ハンドツールが使えないアプリケーションでは、上下左右の画面のスクロールになります。スクロールの速度は 5 段階に設定できます。スライダを希望の目盛りまでドラッグしてください。 ・遅い : スクロールの速度をより遅く設定します。 ・速い : スクロールの速度をより速く設定します。 アプリケーションのなかには、スクロールが縦方向にしか働かないものがあります。
開く／起動…	ワンタッチで任意のアプリケーションやファイルを開くことができます。 選択すると「アプリケーションを起動」画面が表示されますので、「参照」をクリックして任意のアプリケーションやファイルを選択し「起動するアプリケーション」欄に表示させたら「OK」をクリックしてください。
筆圧一定 ※サイドスイッチ、セカンドサイドスイッチのみ表示されます。	スイッチが押されている間、筆圧を一定に保ちます。同じ太さの線を引くときなどに便利です。
ペン⇔マウスモード	ペンモードとマウスモードを切り替えます。初めてスイッチにこの機能を設定した場合、ダイアログボックスが表示され、ポインタの加速と速度を設定できます。

設定項目	内容
ポップアップメニュー	ワンタッチであらかじめ登録されたポップアップメニューを呼び出すことができます。メニューの内容はポップアップメニューのコントロールパネルで設定します▶ P.30
消しゴム	消しゴムを設定します。▶ P.26
Ink 文字認識 ON/OFF(Macintosh のみ) ※ OS X 10.2 以降のみ表示されます。	Inkwell 文字入力の ON/OFF を選択することができます。 【Inkwell とは・・・】 Inkanywhere 機能を ON と OFF に切り換えます。ON にすると、筆跡が認識されるようになり、テキストがドキュメントに挿入されます。Inkwell の詳細については、Macintosh のヘルプや Apple 社のホームページをご覧ください。
標準設定	標準設定にリセットします。
無効	スイッチ、ボタンを使えなくします。

ポップアップメニュー

スイッチの機能に「ポップアップメニュー」を設定すると、ワンタッチであらかじめ登録しておいた機能を使うことができます。「ポップアップメニュー」タブをクリックすると、下のコントロールパネルが表示されます。



番号	設定項目	内容
1	追加	ポップアップメニューに機能を登録します。登録できる機能については、29 ～ 30 ページをご覧ください。
2	削除	ポップアップメニューに登録済みの機能を削除します。「ポップアップメニューの項目」から削除したい項目をクリックし、「削除」をクリックしてください。
3	ポップアップメニューの項目	ポップアップメニューに登録された機能などが表示されます。順番を並べ替えるときは、移動したい位置へドラッグします。
4	ポップアップフォント	ポップアップメニューのフォントと文字サイズを設定できます。
5	文字サイズ	
6	標準設定	クリックすると、全ての設定が標準 (お買い上げ時の設定) に戻ります。

ペン先とポインタの位置を合わせる

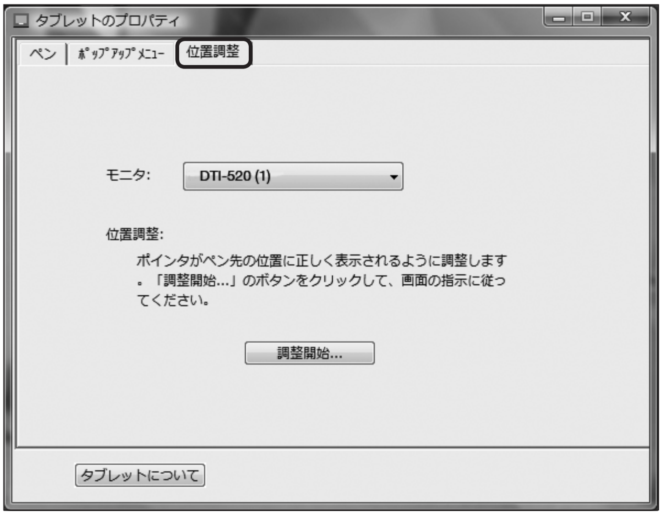
「位置調整」タブをクリックします。

ペン先を液晶画面に近づけたとき、ペン先を置いた場所にポインタが正しく表示されるよう調整します (視差の調整)。

※アナログ RGB 入力方式の液晶ペンタブレットをご使用の場合は、21 ページを参考にまず画面の調整を行ってください。

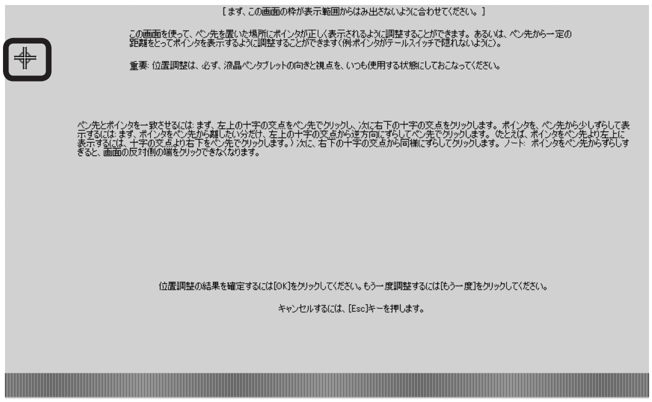
※複数のタブレットを接続してお使いの場合は、「複数の液晶ペンタブレットを接続した場合の設定」をご覧ください (P.32)。

1 「調整開始 ...」ボタンをクリックすると、調整用画面が表示されます。



2 左上に表示される十字マークの中心をペン先でクリックすると、十字マークが右下に移動します。

3 右下の十字マークの中心をペン先でクリックすると、十字マークが消えます。これで位置の調整は終了です。



複数の液晶ペンタブレットを接続した場合の設定

複数の液晶ペンタブレットをつないでお使いになるときは、液晶ペンタブレット 1 台ずつ個別のペン設定と位置調整が必要です。以下の手順で行ってください。

1 設定を行うタブレットの液晶画面にペン先を近づけ、ポインタがペン先に合わせて動くことを確認します。

2 コントロールパネルを開きます（「画面が液晶パネルからはみ出したり文字がにじんだら・・・」（P.21）の手順 1 の画面をご覧ください）。

3「位置調整」タブを開き、「モニタ」に正しいモニタ名が表示されているかを確認します。

●モニタに別のモニタ名が表示されている場合は

別の液晶ペンタブレットのコントロールパネルが表示されています。キーボードの「ESC」キーを押してコントロールパネルを消し、再度手順 1 からの操作を行い、正しいモニタ名のコントロールパネルを表示してください。

※再表示せずモニタ名のみ変更しても、そのタブレットの設定はできません。

【重要】

複数の液晶ペンタブレットを接続している場合には、最後にペン先を認識したタブレットのコントロールパネルが表示されます。ポインタを確認した後、別のタブレット上でペンを使ってコントロールパネルを開くと、そこでペン先が認識され、そのタブレットのコントロールパネルが開いてしまいます。以下の例を参考にご注意ください。

例＞タブレット A とタブレット B を接続している場合に、タブレット A を設定する
①タブレット A でポインタを確認
②タブレット A でコントロールパネルを表示→○
　タブレット B でペンを使ってコントロールパネルを表示→✕（タブレット B の設定ができる）
　タブレット B でコンピュータに付属のマウスを使ってコントロールパネルを表示→○

4「画面が液晶パネルからはみ出したり文字がにじんだら・・・」(P.21) を参考に、位置調整を行います。
ペンの設定を行うときは、「ペン」タブを開き「ペンの設定を変更する」(P.28) を参考に設定を行ってください。

5 別のタブレットの設定を行うときは、手順 1 ～ 4 を繰り返します。

注意　ご使用の PC のグラフィックボードやグラフィックドライバによっては、マルチモニタで正常にご使用いただけない場合があります。

付 録

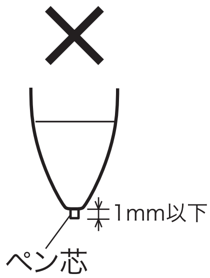
汚れを落とす

本機のケース部分やペンが汚れたら、清潔な柔らかい布で拭いてください。
汚れが落ちない場合は、中性洗剤を薄めたものを清潔な柔らかい布にふくませ、固く絞ってから拭いてください。
液晶表示部の保護板が汚れたら、乾いた柔らかい布でふいてください。汚れが落ちにくいときは水でかすかに湿らせてください。

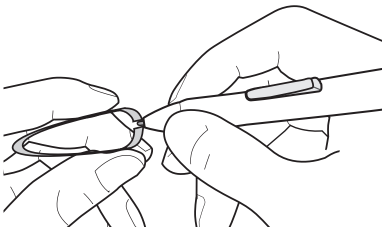
> **注意** 洗剤は使わないでください。洗剤をお使いになりますと書き味が損なわれることがあります。また、アルコールなどの有機溶剤を使わないでください。表面が変色することがあります

ペン芯の交換

ペン芯が磨耗したとき（1mm 以下）は、図のようにペン芯を交換してください。ペン先が磨耗して角張りますと、液晶表示部の保護板表面を傷つけやすくなります。

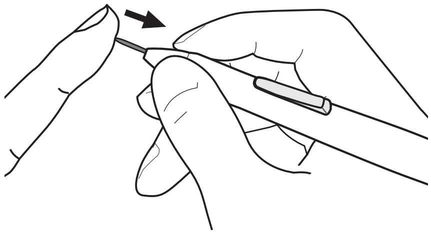


ペン芯を抜く



ピンセットのようなもので、芯を引き抜いてください。

新しい芯を差し込む



止まるまでしっかりと新しい芯を差し込んでください。

> **注意** お子さまが、電子ペンや芯を口の中に入れないようにご注意ください。芯が抜けて飲み込む恐れがあります。電子ペンを口の中に入れると、故障の原因になります。

オプション品のご案内

DTI-520 専用の別売品をそろえております。DTI-520 U Model 用はワコムストアでお買い求めいただけます。DTI-520 S Model 用は担当営業までご連絡ください。

● DTI-520 U Model

製品	型番	備考
スタイラスペン	IP-110-0G	2 サイドスイッチ付き筆圧ペン
替え芯	FUZ-A010	5 本入り / 芯抜き付属
反射防止フィルム	DTIA-52UAG	本機の液晶表示部に貼り付けます。光の反射を抑えて、ディスプレイに表示される画像や映像を見やすくします。

「ワコムストア（ワコムダイレクト）」のホームページ

http://tablet.wacom.co.jp/wacomclub/store/store_index.html

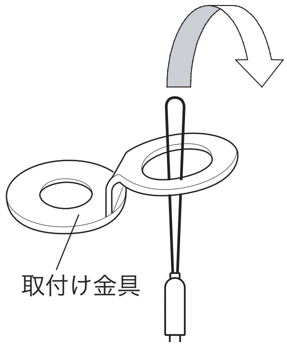
● **DTI-520 S Model**

製品	型番	備考
スタイラスペン	IP-110-00	2 サイドスイッチ付き筆圧ペン
替え芯	FUZ-A010	5 本入り / 芯抜き付属
反射防止フィルム	DTIA-52UAG	本機の液晶表示部に貼り付けます。光の反射を抑えて、ディスプレイに表示される画像や映像を見やすくします。
スピーカー	DTIA-52USP	本機の両側に設置して、パソコンや DVD などからの音声、音楽などを聞くことができます。

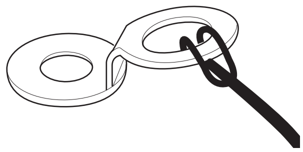
ペン紛失防止ケーブルの取り付け方

ペンを失くしたり、どこかに置き忘れたりすることがないように、ペンにはペン紛失防止ケーブルを取り付けることができます。

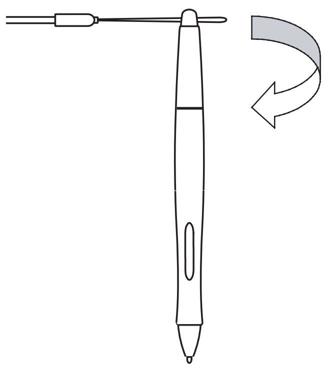
1 取付け金具にペン紛失防止ケーブルの先端を通します。



2 通した先端をケーブルのもう一方の輪の中に通します。

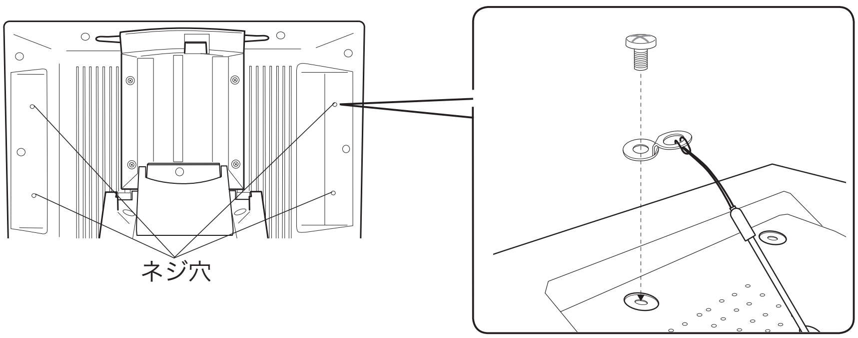


3 ペンの上の穴にケーブルのもう一方の先端を通し、輪の中に金具を通します。



4 金具を付属のネジでネジ止めします。

以下の４つのネジ穴にペン紛失防止ケーブルを取り付けることができます。



故障かな？と思ったら

ディスプレイのトラブル

こんなメッセージが表示されたら

メッセージ	処置	参照
INFORMATION OUT OF RANGE xx.xKHz / xx.xHz	本機を接続する前にお使いになっていたモニタがあれば接続し、周波数を水平 30 ～ 56.5kHz、垂直 45 ～ 75Hz に合わせてください。そして、本機を接続してください。	ー
INFORMATION NO SIGNAL GO TO POWER SAVE	● ビデオ信号ケーブルの接続を確認してください。 ● ビデオ信号ケーブルのコネクタのピンが折れたり曲がったりしていないか確認してください。 ● コンピュータが省電力状態になっていたら、マウスを動かしたり、キーボードのキーをどれか押してください。 ● コンピュータのグラフィックボードが正しく装着されているか確認してください。	P.14 ～ 17 ー ー ー
INFORMATION CABLE DISCONNECT GO TO POWER SAVE	● ビデオ信号ケーブルの接続を確認してください。 ● ビデオ信号ケーブルのコネクタのピンが折れたり曲がったりしていないか確認してください。 ● 付属のビデオ信号ケーブル以外のものをお使いになっていると、省電力状態になる前にこのメッセージが現れることがあります（故障ではありません）。付属のケーブルで接続してください。	P.14 ～ 17 ー P.11 ～ 13
INFORMATION D-SUB NOT PRESENTED	RGB-RGB ケーブルが接続されていません。	P.14 ～ 17
INFORMATION VIDEO NOT PRESENTED	コンポジットビデオケーブルが接続されていません。	P.16 ～ 17
INFORMATION 画面のリフレッシュレートを 70Hz以下に設定してください。 Current Timing : XXXX x XXX XX.XHz	解像度が 1024 x 768 ドットのときは、リフレッシュレートを 70Hz 以下に設定してください。70Hz 以上に設定した場合、タブレットの性能に悪い影響を与える場合があります。	ー

注意 ＊ビデオ信号ケーブルとは､RGB ケーブルまたはコンポジットビデオケーブル（▶ P.11 ～ 12）を指します。

こんな症状があらわれたら

症状	処置	参照
電源表示ランプがオレンジ色に点灯していたり、オレンジ色と青色に点滅している	● ビデオ信号ケーブルの接続を確認してください。 ● ビデオ信号ケーブルのコネクタのピンが折れたり曲がったりしていないか確認してください。 ● コンピュータが省電力状態になっていたら、マウスを動かしたり、キーボードのキーをどれか押してください。 ● コンピュータのグラフィックボードが正しく装着されているか確認してください	P.14 ～ 17 ー ー ー
電源表示ランプが点灯せず、画像が表示されない。	● 電源ケーブルの接続を確認し、電源スイッチを ON にしてください。	P.14 ～ 17
電源スイッチを押しても画像が表示されない。		ー

症状	処置	参照
画面が乱れる。 画面がゆれる。 画面がちらつく。	● ピッチとフェーズを調整してください。 ● コンピュータのディスプレイアダプタが、本機に対応していることを確認してください。 ● 入力信号のグラフィックモードと周波数が、本機の対応範囲であることを確認してください。ただし、ビデオカードの同期パルス幅が本機に合わない場合は、きれいに表示できないことがあります。 ● コンピュータのリフレッシュレート（垂直周波数）を、最適な画面になるように設定してください。	P.22 ～ 24 ー P.38 P.38
画面が鮮明に表示されない。	● コントラストや明るさを調整してください。 ● ピッチとフェーズを調整してください。 ● コンピュータの表示解像度を XGA（1024 × 768）に設定してください。	P.22 ～ 24 P.22 ～ 24 ー
画面が二重、三重になる。	● ビデオ信号ケーブルを延長したり、インプットセレクタを使用したりしないでください。 ● ビデオ信号ケーブルをコネクタにしっかり接続してください。	ー ー
画面の表示位置がずれている。 画像の大きさが正しくない。	● ピッチとフェーズを調整してください。 ● 水平位置と垂直位置を調整してください。入力信号やビデオカードによっては、画像が画面全体に広がらない場合があります。	P.22 ～ 24 P.22 ～ 24
画面が暗い。	● 明るさを調整してください。 ● バックライト輝度を調整してください。	P.22、23 P.22、23
画面に波や縦縞が出る。 画面の色にむらがある。	● ピッチとフェーズを調整してください。	P.22 ～ 24
白色が白く表示されない。	● 色温度を調整してください。	P.22、23

ペン、サイドスイッチが正しく動かない（Windows・Macintosh 共通）

症状	処置	参照
ペン先が少し触れただけでもクリックしてしまう。	● コントロールパネルでペン先の感触をより「硬い」設定にしてください。	P.28
かなり力を入れないとクリックできない。	● コントロールパネルでペン先の感触をより「柔らかい」設定にしてください。	P.28
ペン先が触れる前にクリックしてしまう	● コントロールパネルでペン先の感触をより「硬い」設定にしてください。 ● ペン先を操作面に近づけただけでステータスランプが青色に変わるときは、ペンまたはタブレットの故障が考えられます。	P.28
ペン先やサイドスイッチが利かない。	● ペン先やサイドスイッチを押したとき、ステータスランプが青色に変わることを確認してください。変わらなければ、ペンまたはタブレットの故障が考えられます。	P.8
サイドスイッチが利かない。	● コントロールパネルでサイドスイッチが「無効」になっていないか確認してください。	P.28 ～ 30
ペン先でダブルクリックができない。	● できるだけ同じ場所を速くクリックしてください。 ● サイドスイッチやセカンドサイドスイッチを 1 回押してダブルクリックするように設定することもできます。 ● コントロールパネルで、ダブルクリック距離を大きくしたり、ペン先の感触を柔らかく設定してください。 ● 通常のマウスのコントロールパネルで、ダブルクリックのスピードが速すぎないか確認してください。	ー P.28 ～ 30 P.28 ～ 30 ー
筆圧機能機能が使えない。	● ご使用のアプリケーションが筆圧機能に対応しているかどうか、ソフトウェアの説明書や発売元にご確認ください。ソフトウェアによっては、筆圧機能を有効にするための設定が必要なものがあります。 ● タブレットドライバが正しくインストールされていないことが考えられます。タブレットドライバを再インストールしてみてください。	ー P.18 ～ 19

一般的なトラブル

症状	処置	参照
コンピュータを買い替えたり、新しいソフトウェアを使ったらタブレットが使えなくなった	● 最新版のタブレットドライバをインストールすると、解決することがあります。最新版のタブレットドライバはホームページからダウンロードできます。▶ http://tablet.wacom.co.jp/	ー
USB ハブにタブレットを接続しているが、動作しない。	● USB ハブの機種によってはタブレットが認識できない場合があります。コンピュータ本体の USB ポートに直接接続してください。	ー

Windows でのトラブル

症状	処置	参照
USB ポートに接続してもペンでまったく操作できない。	● USB コネクタの接続を確認してください。USB ハブに接続してお使いの場合は、コンピュータ本体の USB ポートに直接接続してみてください。 ● デバイスマネージャの、「不明なデバイス」の中に本機の型式がある場合は、このリストから選択し削除ボタンをクリックして、すべての設定から削除してください。次に、更新ボタンをクリックしてください。「新しいハードウェアの追加ウィザード」ダイアログが出てきたら、それに従って、タブレットドライバを再インストールしてください。 ● USB ポートが有効になっている場合は、「コントロールパネル」フォルダの「システム」を開き「ハードウェア」→「デバイスマネージャ」の順に開いて、表示されるリストの中に「USB(Universal Serial Bus) コントローラ」があることを確認してください。もしなければ、お使いのコンピュータを調整する必要があります。コンピュータメーカーにご相談ください。	P.14 〜 17 ー ー
Windows 上でフルスクリーンモードの DOS を使用中、ペンでポインタを動かせない。	● DOS マウスを使用中には、ペンはお使いになれません。マウスで操作してください。	ー
通常のマウスのコントロールパネルで左利き用に設定したら、ペン先でクリックできなくなった。	● Windows を再起動してください。	ー

Macintosh でのトラブル

症状	処置	参照
USB ポートに接続してもペンでまったく操作できない。	● USB コネクタの接続を確認してください。コンピュータ本体の USB ポートに直接接続してください。 ● USB カードを装着している場合、システムソフトウェアが正しくインストールされていないことが考えられます。 ● 本機以外のフルスピード、ハイパワーの USB 周辺機器があれば接続して、コンピュータ本体の USB ポートが正しく動作するかどうか確かめてみてください。動作する場合はタブレットの故障が考えられます。	P.14 〜 17 ー ー
マウスモードにしかならない。筆圧も使えない	● タブレットドライバが正しくインストールされていないことが考えられます。タブレットドライバを再インストールしてください。	P.18 〜 19

仕様

総合仕様

外形寸法（W × D × H）	344 × 300 × 49mm（スタンドを除く）
重量	4.6kg（スタンドを含む）
本体入力電圧	DC12V
消費電力	23W 以下（DC12V）
使用温度、湿度	5 ～ 35℃、20 ～ 80%RH（結露がないこと）
保管温度、湿度	-10 ～ 60℃、20 ～ 90%RH（結露がないこと）（温度 60℃では最高保管湿度は 38%、湿度 90%では最高保管温度は 42℃）

液晶表示部仕様

駆動方式	a-Si TFT アクティブマトリクス液晶
画面サイズ	15 インチ
解像度（最高 75Hz）	1024 × 768 ドット（XGA）、800 × 600 ドット（SVGA）、640 × 480 ドット（VGA）
画素ピッチ	0.297(W) × 0.297(H)mm
表示寸法	304.1 × 228.1mm
表示色	253 階調、1,619 万色
入力信号	アナログ RGB 信号　0.7Vp-p、75 Ω、正極性 同期信号 --------- TTL レベル、2.2k Ω、極性自由（水平 / 垂直分離または複合同期信号） デジタル信号 --- DVI 1.0 同期周波数 ------ 水平：30 ～ 56.5kHz、垂直：45 ～ 75Hz（1024x768 ドットのときは 70Hz まで） 走査方式はすべてノンインタレース
プラク＆プレイ	DDC2B

- まれに、表示部のごく一部に常時点灯、非点灯のドットが見られることがありますが、故障ではありません。
- 静止画を長時間表示したあと残像が生じることがありますが、時間がたつと徐々にもとに戻ります。

タブレット部仕様

読取方式	電磁誘導方式
読取可能範囲	304.1 × 228.1mm
読取分解能	最高 20 lpmm（0.05mm）
読取精度	± 0.5mm　ただし、操作面の四隅（各辺の角から 20mm、幅 80mm の L 字型の範囲 4 か所）は± 2.0mm
読取可能高さ	5mm
データ転送速度	最高 100 ポイント / 秒
筆圧レベル	512 レベル
インタフェース	USB、RS-232C

電子ペン仕様（IP-110）

サイドスイッチのタイプ	ダブル
筆圧機能	ペン先スイッチ
ペン先スイッチのタイプ	ストローク (沈み）なし
／動作ストローク	0.2mm 以下
(ペン先スイッチ ON 荷重	30g 以下）
外形寸法、重量	φ 12.5 × 146.5mm、10g

お問い合わせ用紙／修理依頼票

FAX 03-5309-1514 カスタマーサポート行き

コピーしてお使いください。お手数をおかけいたしますが、迅速かつ確実な対応のために、必要事項をご記入願います。

□初めての修理

□再修理

フリガナ お名前	様	TEL: FAX:	日中の連絡先 TEL:
ご住所	〒		

タブレット型式	DTI-520	シリアル番号	
お買上店名		お買上日　　年　　月　　日	

発生日時／頻度について、ご記入ください。

初めて故障した日	年　　月　　日
故障が発生するとき	電源オン時・使用開始直後・使用開始後　　分／時間してから・電源オフ時
故障頻度	使用開始時のみ・いつも・ときどき（　　時間／　日に　回）・まれ（　　週間に　　回）

症状やエラーメッセージなど、故障内容について具体的にご記入ください。

ご使用のコンピュータと周辺機器についてご記入ください。

コンピュータ	メーカー名：	モデル名：

	メーカー名：	機種名：	接続ポート：
他の USB 機器			
USB ハブ			
ディスプレイ			
ビデオカード			
その他			

故障発生時、使用していたソフトウェアをご記入ください。

OS	□ Windows Vista □ Windows XP　□ Windows 2000 □ Mac OS (Ver.　　　)
タブレットドライバ	Windows・Macintosh　Ver.
アプリケーション	名称　　　　　　Ver.

アフターサービスのご案内

●ワコムのインターネットホームページ　http://tablet.wacom.co.jp/

各種製品情報、最新版タブレットドライバのダウンロード、よくお寄せいただくご質問とその回答、キャンペーン情報などを掲載したワコムのホームページです。

●ワコムクラブ / ワコムストアのご案内

WACOM CLUB について

WACOM CLUB はワコムペンタブレットユーザ様限定の会員サービスです。詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

http://tablet.wacom.co.jp/wacomclub/

会員になると、弊社からの最新情報をお届けする他、オンラインショッピングサイト「ワコムストア」で付属品、オプション品、グラフィックソフトなどをご購入いただけます。

●サポート窓口のご案内

インターネット FAQ http://tablet.wacom.co.jp/support/	皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてワコムのホームページに掲載しております。ぜひ、ご活用ください。ワコムのホームページから「サポート」→「FAQ& お問い合わせ」を選択してください。アクセスできます。 インターネット FAQ より解決策が得られない場合、ホームページ上のサポートセンターへのお問い合わせフォームをご利用ください。 また、ワコムクラブ会員になると、会員向け用 FAQ をご覧いただけます。さらに詳しい技術情報が掲載されています。
FAX によるサポート **FAX:03-5309-1514** **（カスタマーサポート）**	製品に関するご質問、ご相談に FAX でお答えします。 お問い合わせ用紙 *1 に正確にご記入の上、お送りください。FAX*2 にて折り返しご連絡します。
電話によるサポート **0570-05-6000**	製品に関するご質問、ご相談に電話でお答えします。 受付時間：平日 *3　9 時～ 20 時　土曜日 10 時～ 17 時（日・祝日休み） お問い合わせ用紙 *1 の各項目をご確認のうえ、お電話をいただきますと、状況を把握しやすくなり、より早く問題解決のお手伝いができます。 ナビダイヤルについて ナビダイヤルは、NTT コミュニケーションズ（株）のサービスです。ダイヤル Q2 などの有料サービスではありません。この番号におかけいただいた場合は、電話の接続前に通話料金の概算をお知らせするメッセージが流れ、電話料金がいくらかかるか事前に知ることができます。 PHS 及び IP 電話からはご利用いただけません。また、NTT 以外の電話会社の場合、この番号をご使用いただけない場合があります。以下の電話番号をご利用ください。 TEL:03-5309-1510

●修理依頼先のご案内

上記のサポート窓口からサポートセンターへお問い合わせください。サポートセンターで製品が故障かどうかを確認させていただきます。故障の場合は、製品の送付先をご案内いたします。

---

*1 ユーザーズガイドの巻末に綴じ込まれています。
*2 電子メールや FAX によるお問い合わせに対しては、弊社営業時間内に回答をさしあげます。内容により数日かかることがあります。
*3 弊社の休日を除きます。

液晶ペンタブレット DTI-520 ユーザーズガイド
2005 年 1 月 初版発行
2007 年 12 月 第 4 版発行

Wacom Co., Ltd.
Printed in Taiwan